

2016年1月 第44号
 三重県労働組合総連合
 〒514-0015 三重県津市寿町7-50
 みえ平和と労働会館
 TEL 059-223-2615 FAX 059-223-4495
 http://mieroren.labornet.jp/

みえ労連

ZENROREN

告知板

謹賀新年

2月5日(金) 三重地方自治研究会「市町国保特別会計を学ぶ」13:30~えがお
 2月6日(土) 2016春を呼ぶ!みえ教育ネットワーク教育研究集会「私たちのめざす道徳教育とは」10:00~河芸公民館

「国会審議不十分」69% 「憲法に違反」72% 「日常生活に影響」74%

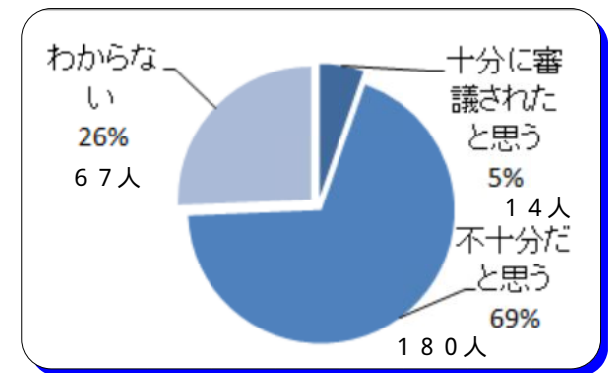


青年はいま、平和を探している

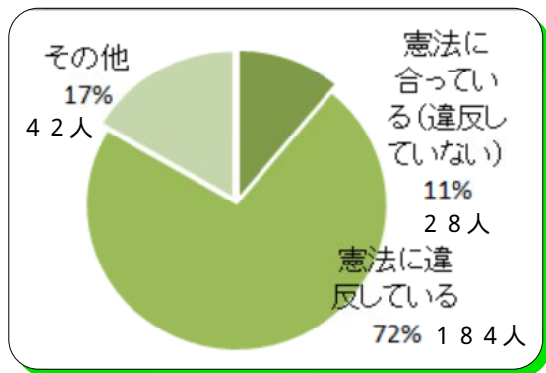
「安保法なくす政府を」42% 「自公政権を」12%
 「戦争体験を聞いた」81% 悲惨な話が129人から

安保法 どう思う?
 青年1000人にアンケート配布、263人から回答

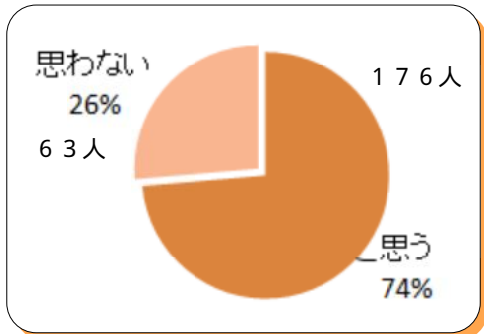
問2 あなたは安保法制について、国会で十分に審議されたと思いますか?



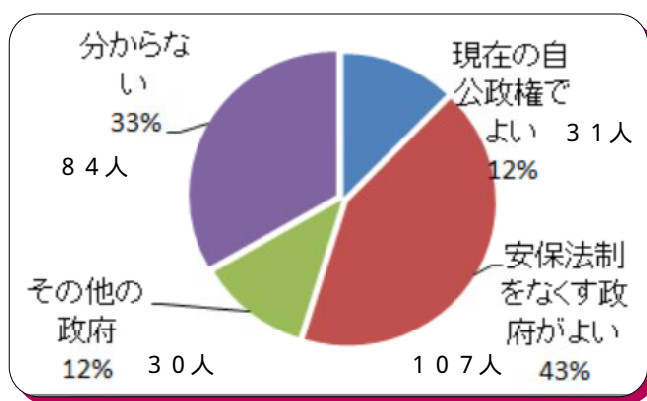
問5 安保法制は、戦争放棄を規定した憲法第9条との関係で、どう思いますか?



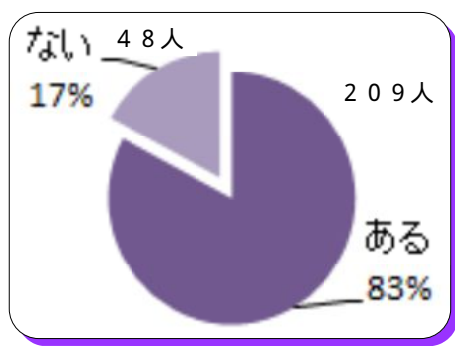
問4 安保法制は、私たちの日常生活になんらかの影響を与えますか?



問6 安保法制が可決されました。今後、あなたはどんな政府を望みますか?



問7 私たちは戦争体験を聞ける最後の世代です。あなたは戦争体験を聞いた事がありますか?



みえ青年連絡会が安保法制に関する青年アンケートを実施

みえ労連・青年連絡会は、戦争法とも言われる「安保法制」が国会で可決された2か月後、16歳~39歳の青年を対象に「若いあなたにお聞きします」とのアンケートを実施しました。263人から回答が寄せられました。「あなたは安保法制について、国会で十分に審議されたと思いますか?」との問いには69%が「不十分だと思う」、「憲法9条との関係では?」との問いには72%が「違反している」と答えるなど、青年がこの問題に大いに関心を持っていることがわかりました。「戦争体験を聞いたことがある」と答えた青年は83%のほりました。いつぼう記述欄には「戦争反対などと言っていたが、どこも戦争するんだと思います」など率直な疑問や意見も書かれていました。また「今後、あなたはどんな政府を望みますか?」には「安保法をなくす政府」が42%の対し、「自公政権でよい」は12%と対照的でした。以下、アンケート結果の中から、特徴的なものを紹介します。

問2

国民はそっちのけだけどねー。時間自体は取った。あれ以上時間をかけても大きな変化はなかったと思われる。

問4

今まで戦争に巻き込まれることがなかったのに、巻き込まれる恐れがある。影響を与えるといっても自衛隊とその家族のみに留まると思う。デモなどで「戦争法案反対」などと言っていたが、私個人の感想としては「どこも戦争するんだ」と思っています。自衛隊の友人が戦地に行くことになるかもしれない。医療や交通、通信様々な技術が国民ではなく国家に優先されるのではないかと。今すぐに、とは思えないが将来的には自衛隊員不足により一般人が戦場へ行くことになるのでは? 自衛隊の活動範囲が広がり、子供(自分)が大人になったらどんな世の中になるか心配。

記述欄に寄せられたさまざまな青年の声

武器を持つことで、何かあれば(起これば)使おうという気持ちが出る。その延長線上に戦争がありそうで怖い。

具体的には分からないですが幼い子供たちが「僕たちは戦争に行かなあかんの?」と不安そうに法案が可決されたTVを見て言っていました。景気が良くなる。軍事に力を入れると医療、介護や生活の税金の使い方が変わってくると思う。悪い方向へ中国などに対する抑止力が高まり平和になる。

軍事費にお金がつぎ込まれてしまったら、福祉や教育など人として豊かに暮らす生活が脅かされるのでは?。

問5

私は全面放棄説を支持しています。国と国民の憲法のとらえ方が異なっているため、違反しているのかどうか真相が分からない。

問6

与党が強行採決したり、野党が、議長が移動するのを妨害して議会をはじめさせないようにする政府でなく、しっかりと話し合いのできる政府。平和のために、全力で取り組む政府。国民の声が届く政府。中国、北朝鮮に強い政府。安保を決めた人たちが戦争に行つて見本をみせたらいい。

問7

あまり覚えていませんが、沖縄での陸上戦のことについて聞きました。泣く赤ん坊が、泣き声で敵にバレないように殺された、というような話があったと思います。戦争が悪いことであるという意識は全くなかった。むしろ正義のように教育されてきた、という部分に分かってはいたはずだが衝撃を受けた。

祖父の兄は若くして戦争に行き亡くなった。家の仏壇の遺影が軍服姿で映っていたのが印象的で、祖父は、妹ら家族を養っていくのに苦労したと。B29が低空飛行で、兵士と目が合いもう殺されると思った。空爆後、人間の肉が腐るとダメだからと、バケツと八サミを持ち拾った、など。

(一面のつぎ)

中国に行つて、部隊がたくさん女性の性を強姦し、それを止めに入つたおばあさんの頭に大きな石をぶつけて殺害。脳みそも飛び出して。裸にした女性を捕虜とし、連れて歩き、その女性が抱いていた赤ちゃんを取り上げ、谷底へ放り投げ、それを見た女性も赤ちゃんを追つて自殺した。まだ10歳にならないような女の子も強姦されていた。侵略していった村々で赤ちゃんを取り上げ、空に放り投げ、落ちてくるところをやりで突き刺していた。その後、沖繩戦に行き、住人をガマから追い出して隠れていた等。この話を聞いて回っているうちに公安にマークされたとの事。

沖繩の防空壕にて。怪我をした人たちが防空壕に運ばれ、手当を受けていたという話。情景が脳裏に思い浮かび忘れられない。

若者が聞いた戦争体験

当時の日本の現状と軍事国家となつた日本の悲惨さ、思想が一つに統一されることの恐ろしさ、等。

祖父が戦争体験者でした。海軍に配属され、同じ隊の多くの仲間が亡くなったそうです。祖父は生還しましたが、身体に何発かの銃弾を受け、左手はすつと不自由なままでした。

戦争へ行つた学校の先生から。その先生は片腕しかありませんでした。戦争で無くなつたそうです。「僕のような腕のない人を、これから出してはいけません」と話していたのを覚えています。

祖父・祖母から、戦時中の話を聞いた。田舎でも列車に対して戦闘機から銃撃を受け、九死に一生の経験をしたこと。終戦宣言したことで日の丸特攻せず命が助かつたという話を聞いた。

母方の祖父が中国に出兵していた。負傷して帰国したが、その後日中友好のために何度も中国へ渡っていた。

一人の祖母が赤十字で看護師として働いていたため、赤紙が来て戦争に行つてどんなことをしたか、くわしく聞いた。想像を絶するものだった。もう一人の祖母は市役所に勤めていたので弟の戦死についての書類を自分で書いたとか、危険が迫ってくると自転車で街の人に知らせるために危険ななか叫んでいたとか、婦人会のことなども。広島に行った時に被ばく体験をきいた。黒い雨に悩まされたという話や、父が被爆した話を聞きました。

アンケート回答者	概要
年代	10代32人 20代109人 30代122人
性別	男性 71人 女性 185人
職業など	高校生6人 大学生44人 無職8人
	正規雇用160人 非正規雇用35人
労働組合	加入している 165人
	加入していない 83人
	加入してもよい 4人
	その他 3人

松阪 伊賀名張 新たに2地域で地域ユニオン（地域労連）づくりがすすむ

待たれていたユニオン結成

「空白地域にユニオンを」とのみえ労連の呼びかけにこたえ、松阪ユニオン結成の相談会を昨年末、在住のユニオン組合員で開きました。

始めは心細い気持ちの第1回準備会でしたが、「あの人に勧めてみよう」という話、共済の資料がほしいと言っている人がいる、今回の会議に出られないが組合に加入する、勧誘のためのチラシを作ってほしいなど意見でみんなが前向きになりました。

第2回準備会では、初参加の人が委員長を、民主体の幹部が特別執行委員を引き受けるなど、役員体制にも目途がつき1月23日に結成総会を開くことになりました。短期間のごく狭い範囲の働きかけだけで新たに5人が組合に加入しました。うち、2人が20歳代の非正規の青年です。ユニオン結成の働きかけが待たれていたのではないのでしょうか。(奥野)

伊賀名張地域労働組合の準備

伊賀名張にはすでに数は少ないものの、いくつかの労働組合があり、公務職場、民間企業など年間金者組合がそれぞれ独自に活動しています。

現在は、横のつながり・情報の共有が少なく、お互いに支え合う活動は一部にとどまっています。

現在1件の解雇事件の闘いとともに、個別の相談も数多くあります。しかし、受け皿が無く、中勢地域労組に依存している状況です。

そのような中でも、昨年は団結もつき大会を実施し、交流をすすめています。(写真)

一昨年には、化学関係の製造業で組合が結成され、昨年には、福祉職場でも組合が結成されています。

伊賀名張地域労組 結成めざし 餅つき大会

お互いのたたかいを支え合い、交流も深めながら、結成に向けて準備を始めています。今年も餅つきを2月14日に行う予定です。多くの仲間に参加を訴えています。(大塚)



団結もちつき大会 2015年1月



憲法をいかに、安心して住み続けられる地域・三重を

第4回 あすの三重を考える つどい

2016年2月28日(日)
10:00~16:30
サンワーク津

第1部(午前) 記念講演と8地域医療圏からの報告
第2部(午後) 分科会や講座など

記念講演

「どうなる社会保障制度、手をつないで充実の運動を」



長友薫輝先生(三重短期大学教授)

分科会

- 第1分科会 地域域医療構想で、あなたの病院はどうなる?
- 第2分科会 高齢者が安心して暮らせる 介護保障・年金
- 第3分科会 子どもが健やかに育つ、 保育・子育て支援、学童保育を考える
- 第4分科会 TPPと三重の農水産業
- 第5分科会 安定した雇用と最低賃金の底上げを
- 第6分科会 いざという時どうする~地域防災を考える~
- 第7分科会 住民と自治体が創る地域公共交通
- 第8分科会 原発再稼働の中止・再生エネルギーをいかに

地域づくり

平和の交流会~青年・教育・戦争世代~



参加費 500円 弁当 500円(事前申し込み)